

山ぶどうワインの6次産業化を目的とする ワインバー開設による地域活性化 ー地域の人々と協働する休耕田と空家の有効利用ー

富山国際大学 川本聖一

地域の人々との協働の有意義性

学生にとって

- 住宅関連の業界の最新知識を直接取得する機会となる。
- 関連企業や地域の方々との意見コミュニケーションとの必要性から、コミュニケーション能力を養うことができる。
- 地域の問題を考える機会となる。また発想した考えが、どうすれば新しいビジネスや地域活性化につなげていくことができるかを実践的に考える場となる。



地域の人々との協働の有意義性

教育機関にとって

- 地域を実践フィールドとして、地域再生に取り組む研究活動は、地域を理解し、地域に役立つ人材の育成に直接的効果がある。これにより地域に根差した教育機関としての役割を果たせる。

地域の人々にとって

- 研究成果が提供されることにより、その後の地域活動に役立つ。
- 若い学生の発想や行動が直接地域活性化になる。



「カーサ小院瀬見」について

- 小院瀬見は南砺市の南西に位置する限界集落であり、「カーサ小院瀬見」は循環型農村の構築や地区の活性化を目指して活動しているグループである。グループのリーダーは南砺市の周辺にいくつかの空家を所有しており、この度、「一般社団法人CASAつむぐプロジェクト南砺」を立ち上げ、その空家を地域の活性化のために役立てようとしている。





ゲストハウス絲

TUINS



○ゲストハウス説明会○

この天神町から福光のファンづくりを。

体験×交流×宿泊

日時 2019年 2・24 (日) 14:00～

場所： 福光字川原6224-2 (旧石崎三郎邸)

かつて福光は麻や絹糸で大いに栄えた歴史があります。

ご存知の方もいらっしゃるでしょう。

そのなごりが残る天神町の石崎三郎邸を富山国際大学の学生達と協力して地元のものを使ったミニショップや織物の体験が出来る楽しいギャラリーを兼ねたゲストハウスにしようと考えています。

人との交流が生まれ、人が集まるような拠点とし福光を賑やかな街にしたいと思います。

お子様や女性の方はもちろんのこと

たくさんのご来訪をお待ちしております (^^) ☆

天神町町内会 富山国際大学 一般社団法人CASAつむぐプロジェクト南砺



空き家再生 ゲストハウス

富山国際大生 地域グループに協力



空き家の古民家再生で掃除や大工作業に奮闘する学生ら＝南砺市福光で

福光、築100年超 機織り紹介のギャラリーも
南砺市福光（天神町）の築百年以上の空き家の古民家をゲストハウス兼ギャラリーに再生しようと、富山国際大の学生四人が、循環型農村や地域づくりを掲げて市内で活動するグループ「カーサ・小院瀬見」に協力し、奮闘している。二十七日も一日がかりで掃除や壁塗り、大工仕事をした。十一月オープンを目指している。（山森保）

11月開業目指す

川本聖一教授（住宅生産）のゼミ生たちで、昨年三月からカーサのプロジェクトに参画。測量などの現地調査、活用法の研究、事業計画の策定に続き、今春から工事を手伝っている。住宅は木造二階建てで、いろいろがあり、地元で盛んだ麻布の機織りにも使われた。カーサ・小院瀬見代表の堀宗夫さん（さん）が、知人から地域のためにとほぼ無料で譲り受けた。学生らは住民説明会もこなし、ギャラリーは機織りの歴史を紹介する展示もすることにした。

活動を卒論に執筆予定の竹林和輝さん（さん）は「空き家の再生はいろんな手間がかかり、ビジネス的に厳しい。コストをどう抑えるかが課題」と難しさを肌で学んだ様子。川本教授は他の物件の再生も計画中で、「地域の問題の解決を学生たちと一緒に考えていきたい」と話している。

福光麻布の織り体験



チャンカラでのれん作りを体験する来場者

南砺市福光地域でかつて栄えた福光麻布の織り体験ができる「ゲストハウス」が1月、同市福光でオープンする。築約100年の木造古民家を改装。22日は内覧会があり、来場者がハウスに飾られるのれんの製作を体験した。

古民家改装のゲストハウス

来月オープン まち歩き地図も用意



1月にオープンするゲストハウス緑

ゲストハウス緑は、南砺市福光地域の住民を中心につくる「Casa」つむぐプロジェクト南砺（堀宗夫代表）が、中心部の古民家をリフォームしてオープン。木造二階建て延べ194平方メートルで、2階に寝室やコミュニティスペース、1階に織り体験の作業場を設けた。地元のマップも用意し、宿泊者にまち歩きを楽しんでもらう。

内覧会では、来場者が寝室や作業場を見て回ったほか、福光麻布を作る際に使われていた織機「チャンカラ」で、のれん作りを体験した。作ったのれんは玄関に飾られる。堀代表は「ゲストハウスを拠点に人を呼び込みたい」と話している。

定員10人で、料金は一泊4200円（税込み）。問い合わせはゲストハウス緑、電話070（4390）3638。

ゲストハウス絲

TUINS





ゲストハウス絲

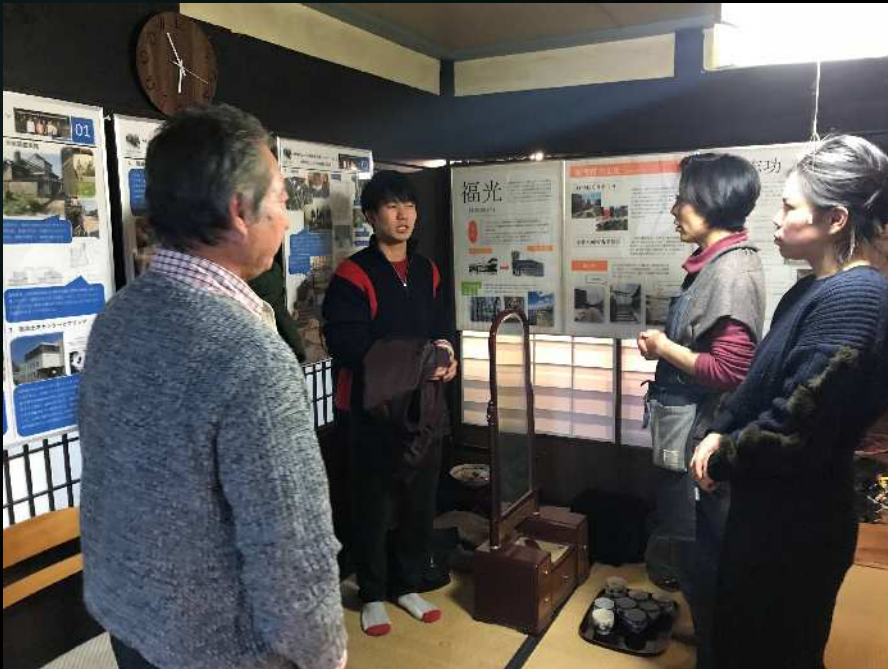
TUINS





ゲストハウス絲

TUINS





ゲスト ハウス 絲



毎月開催
ゆるっとマルシェ

12月20日(日)

×癒し×

- ・箱灸(鍼灸)1時間¥3000
- ・10分ヘッドマッサージ¥500
- ※開催されない月もあります
- ・ドキドキ占い ¥500
- ※開催されない月もあります

×体験×

- ・麻布織体験 ¥2500から
- A.麻織コモノ20×11センチ
- B.麻織ステキナ20×30センチ
- C.麻織マット20×60センチ

×買う×

- ・麻布マスク¥2980
- ・インナーマスク¥1000
- ・お母さん達の小物
- ・MADE IN 南砺 木の小物
- ・地元作家さんの小物&アクセサリ

×食べる×

- ・本日のランチ¥500から
- ・本日のデザート
- ・スルドリップCOFFEE
- ・薬草茶

クーポン付き!

ゲストハウス絲
織物体験メニュー
100円引
き!

ゆるっとマルシェ
毎月第3日曜日11時~15時
「ゲストハウス絲(いと)」
南砺市福光6224-2
Googleマップでのみ検索可
「福光 片山工業」様となり
070-4390-3638
tumuguproject.nanto@gmail.co

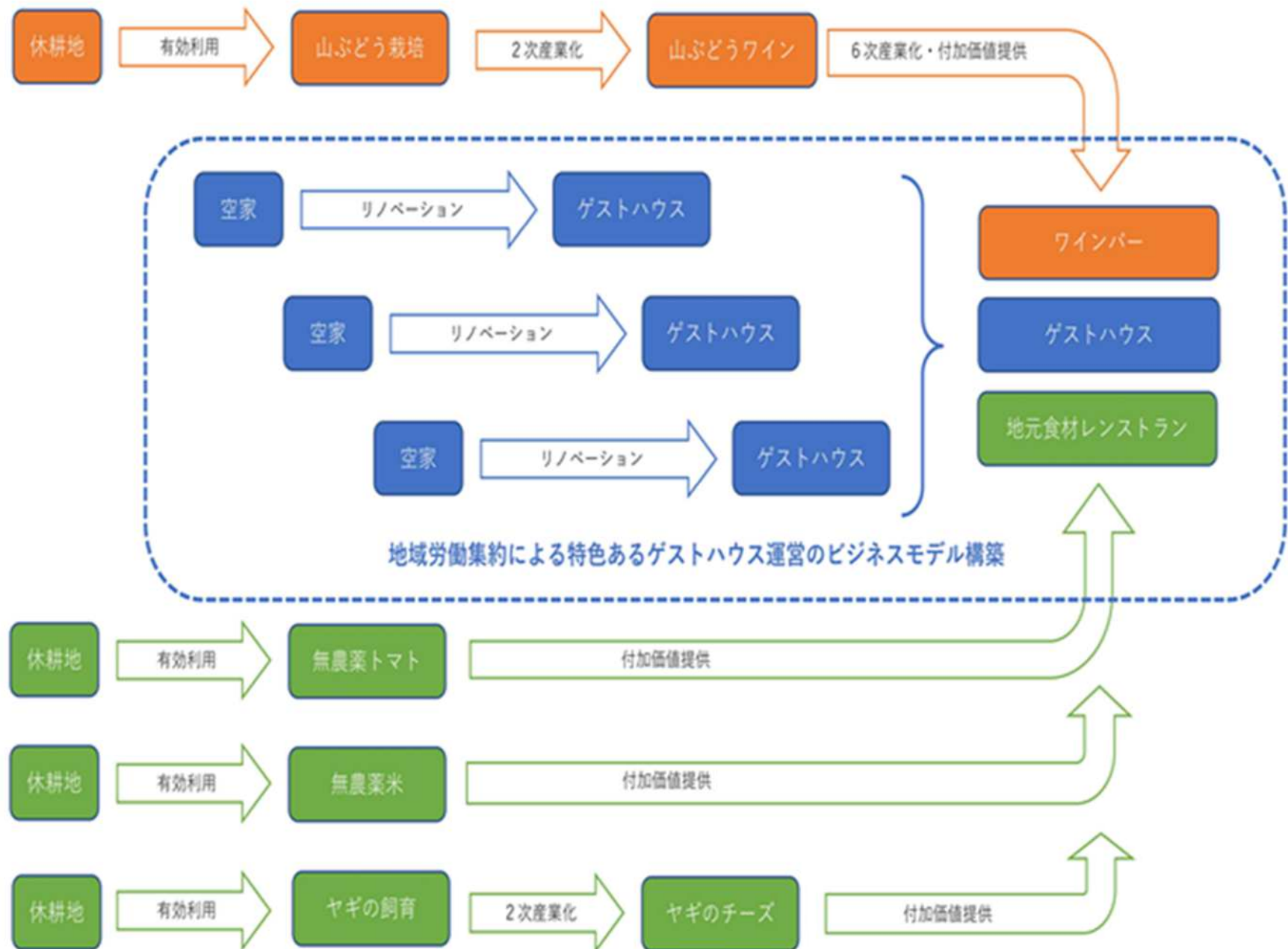
支出		
	月額	年額
リネン	¥2,850	¥34,200
電気	¥5,500	¥66,000
水道(5月~10月無料)	¥3,800	¥22,800
家賃	¥22,000	¥264,000
火災保険	¥1,333	¥16,000
賠償保険	¥1,500	¥18,000
インターネットサーバ	¥5,000	¥60,000
通信費		
ホームページ	¥1,250	¥15,000
灯油	¥5,800	¥23,200
町内会費	¥666	¥8,000
消耗品		
合計	¥49,699	¥527,200

収入		
	月額	年額
6月まで予約なし	¥0	¥0
7月-9月宿泊	¥33,600	¥100,800
10-12月織物	¥20,000	¥60,000

福光町

TUINS





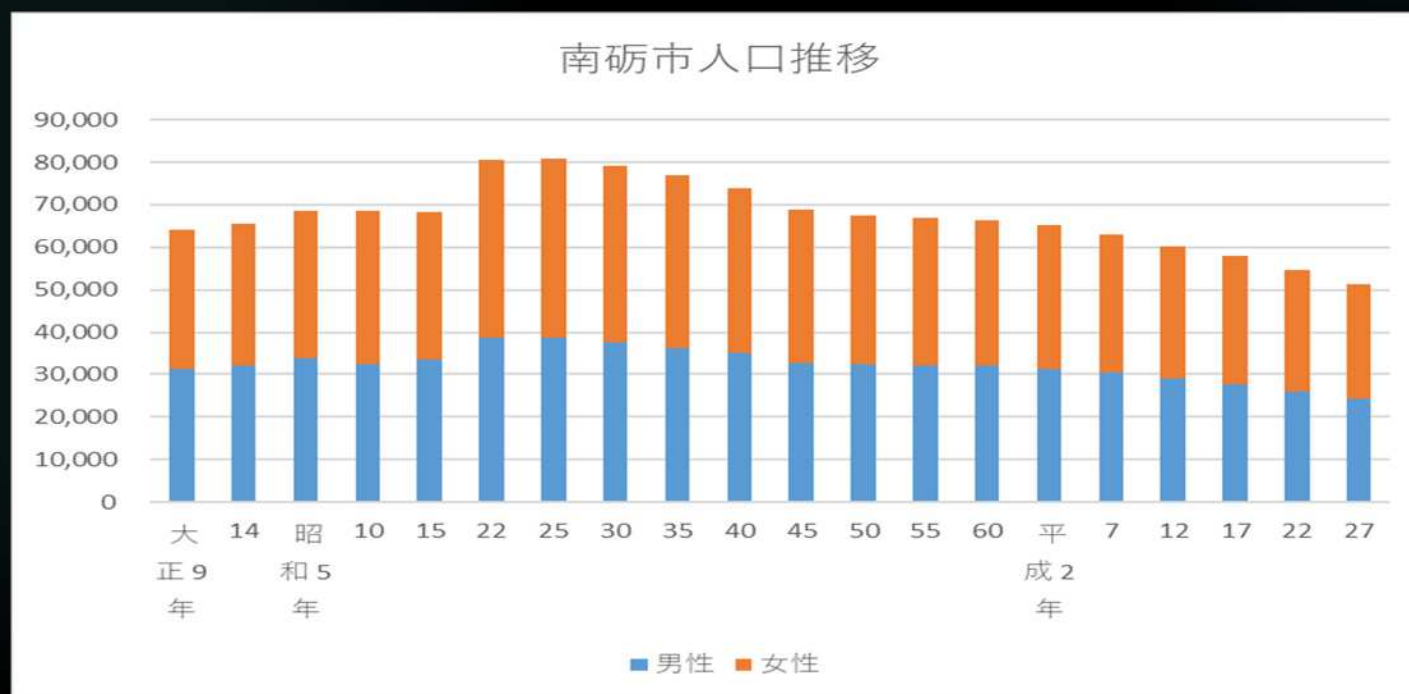
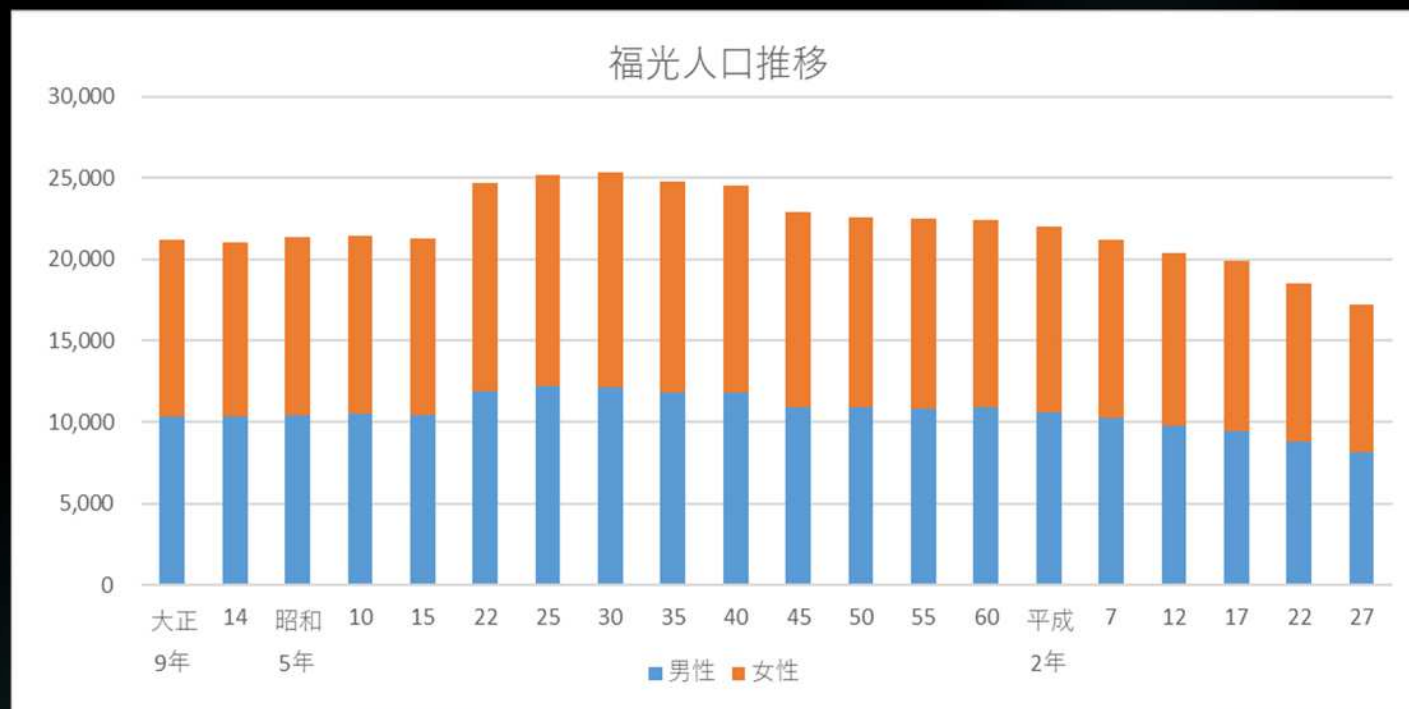
ATTARAMONNI (アッタラモーニ)

TUINS

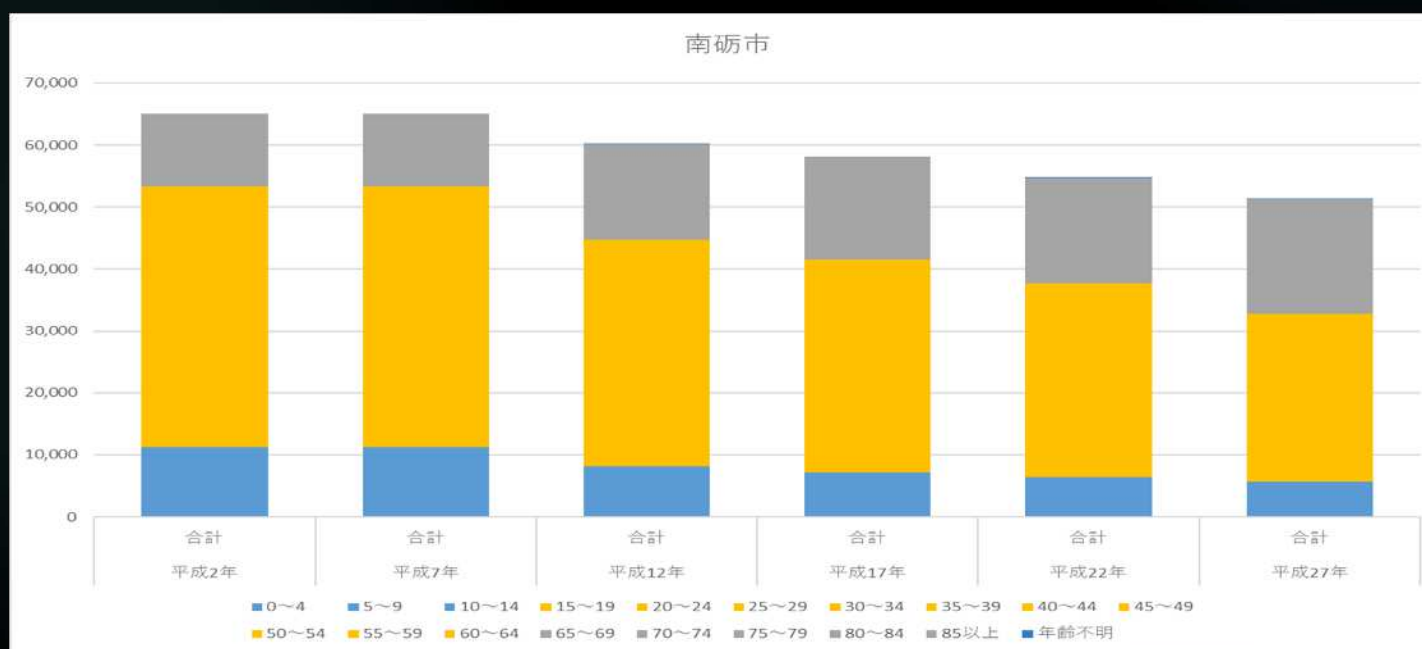
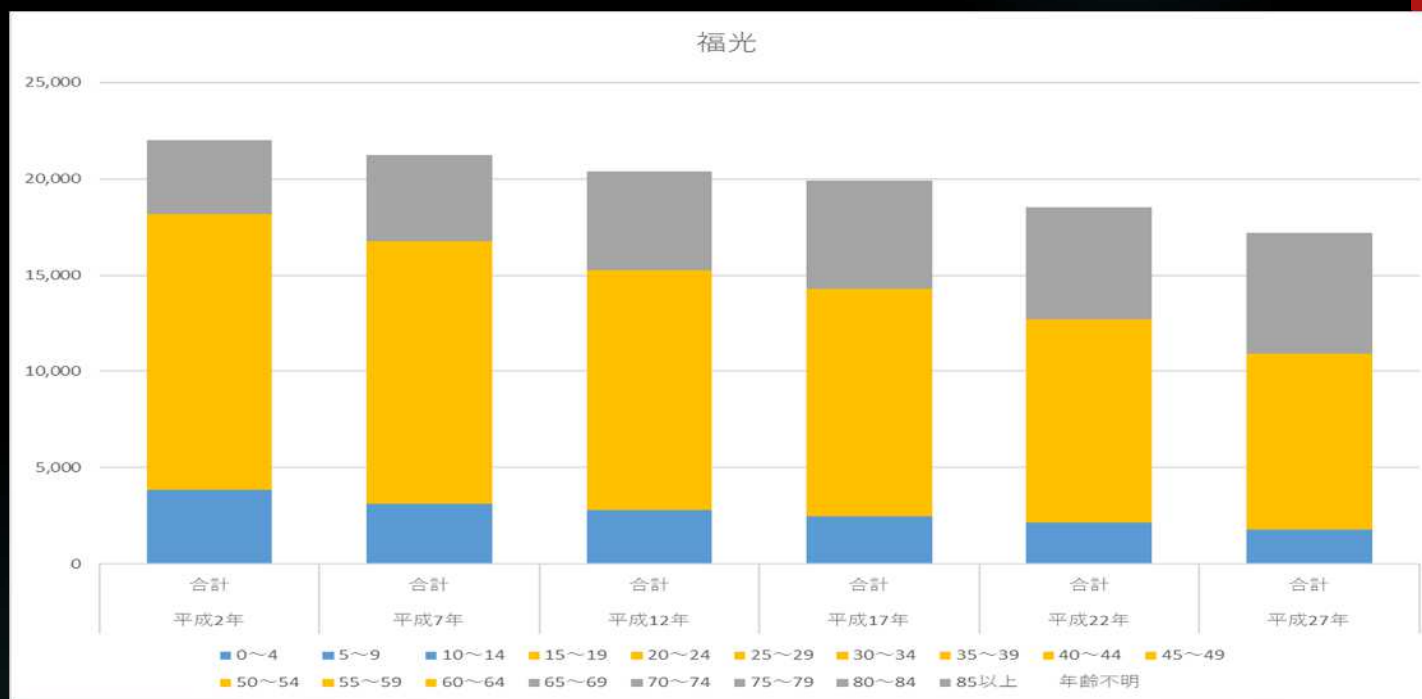


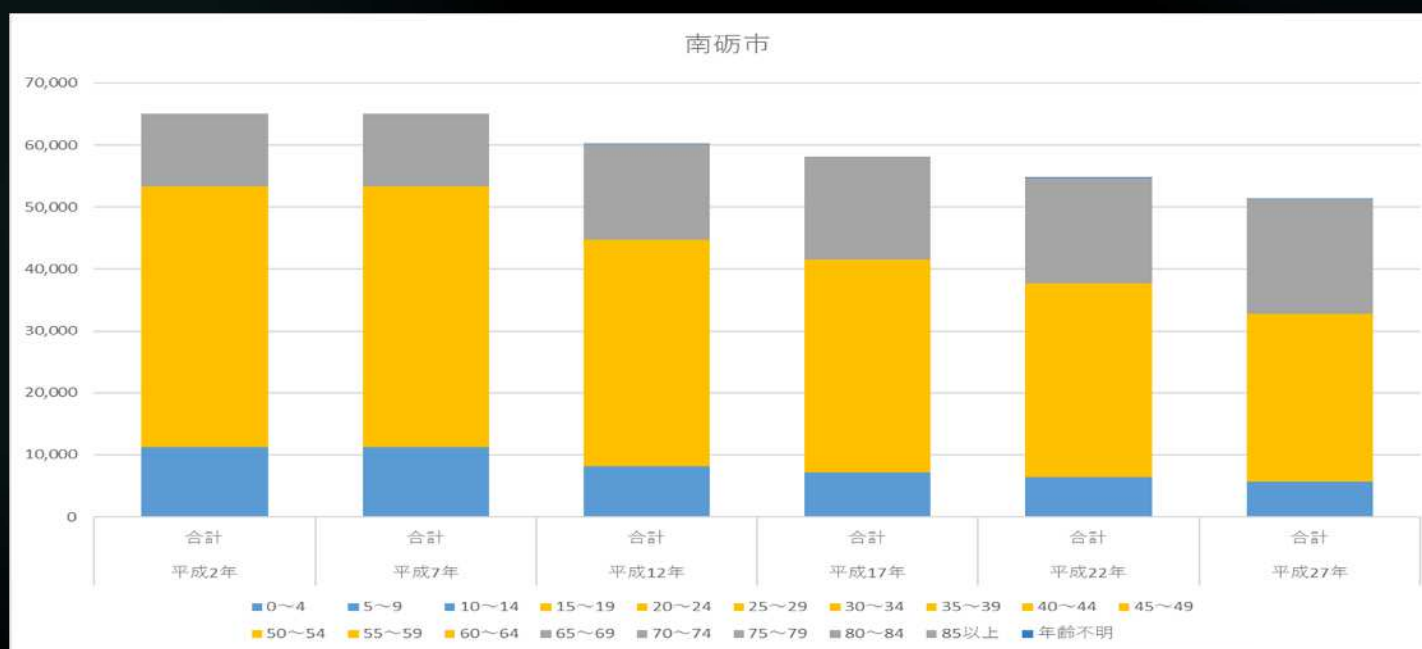
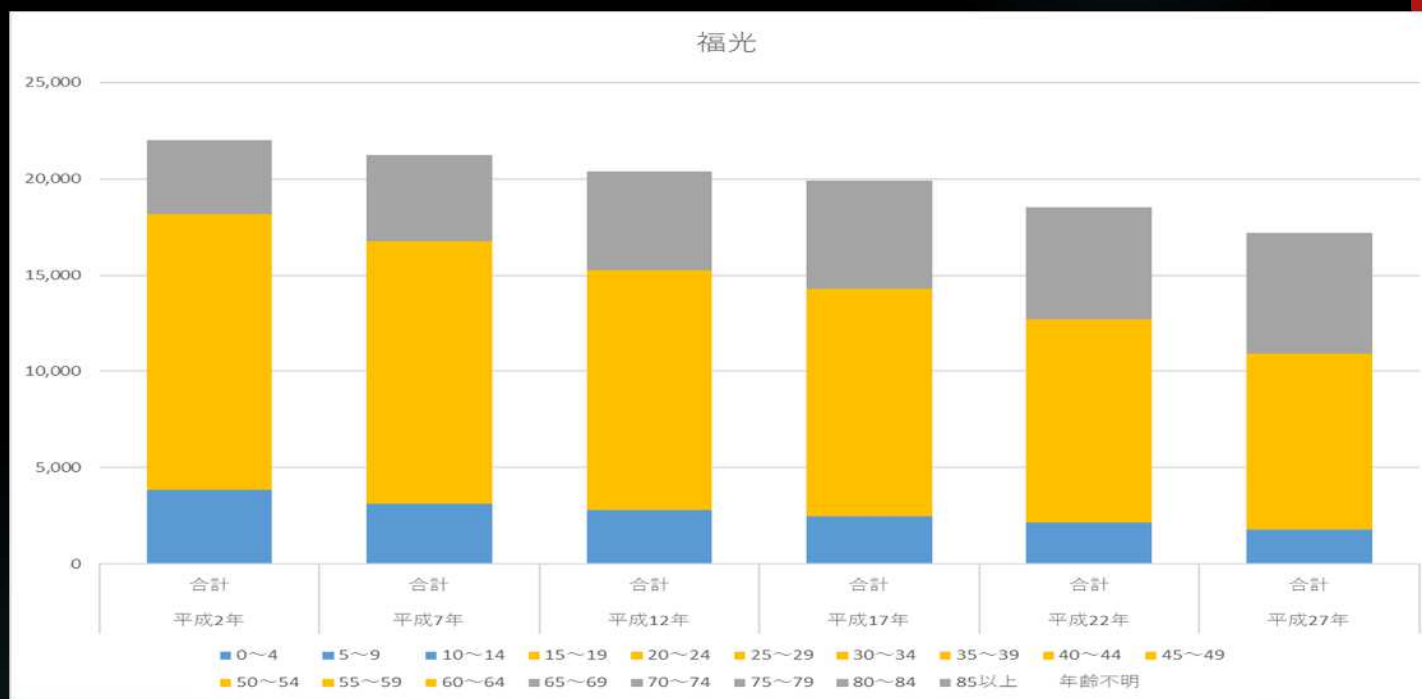
福光町の人口推移

TUINS



TUINS



TUINS

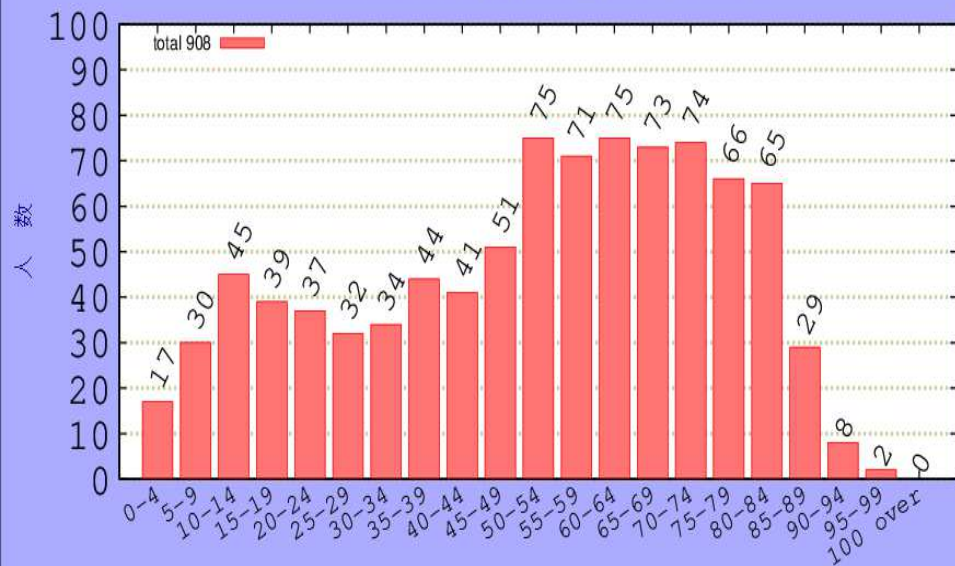
西暦	出来事
784	泰澄大師が真言密教を広めるために医王山48カ寺を開いた
1390	この頃才川城が築かれた
1619	この頃才川の7つの村が合併し才川七村となる
1870	才川七村は町村制の実施により太美郷16村の中に入る
1889	西太美村が誕生する（小院瀬見・才川七・土生・嫁兼の一部・小二又・天池出・南広谷・糸谷新・香城寺）
1907	養蚕が盛んになり繭糸の揚辺をはじめる
1915	小学校で養蚕をする
1952	町村合併により福光町が誕生
2004	合併で南砺市となる



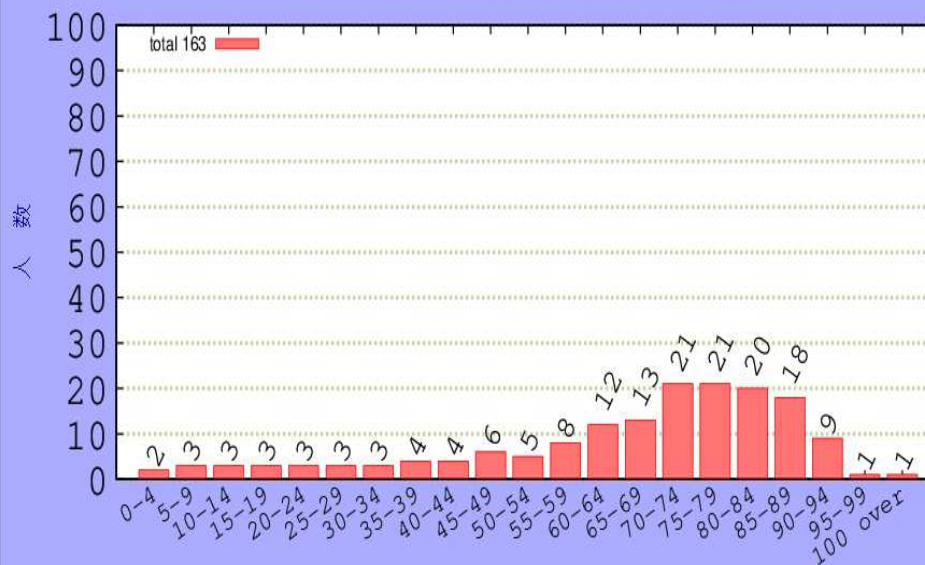
西太美地区

TUINS

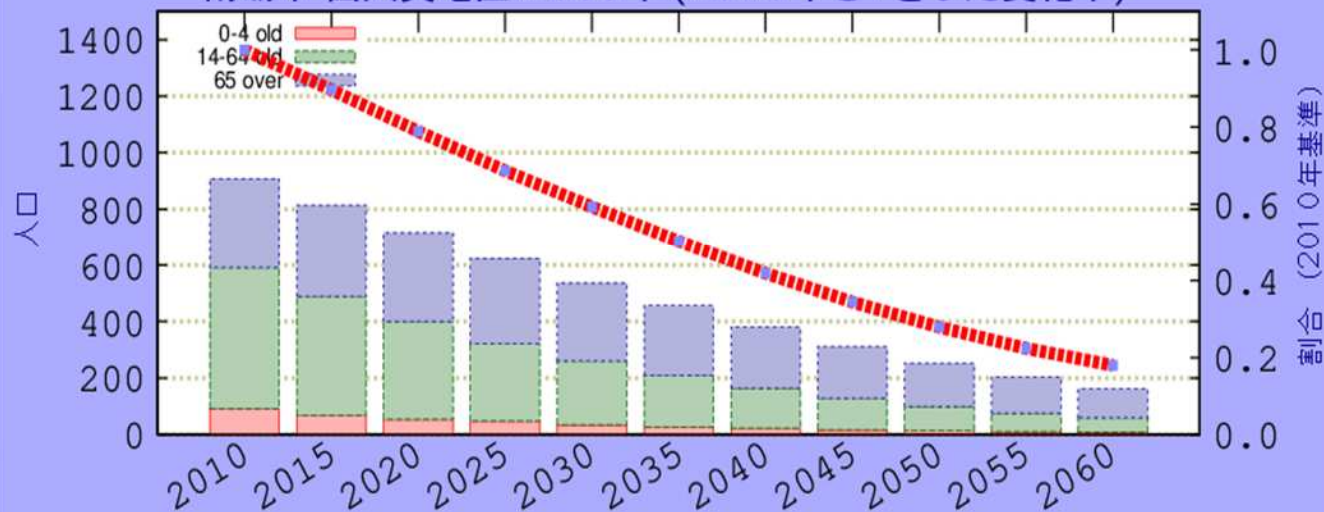
南砺市 西太美地区 国勢調査 2010年(実績)



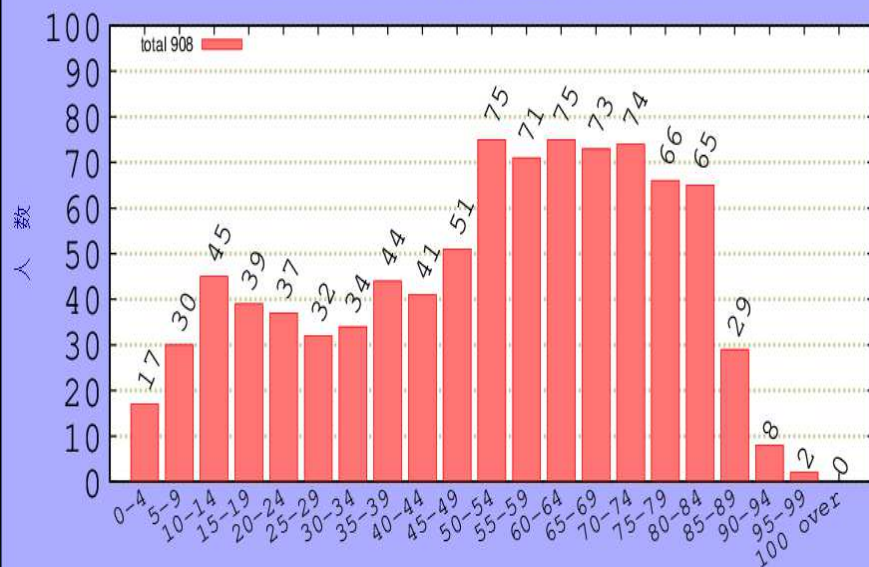
南砺市 西太美地区 国勢調査 2060年(予測)



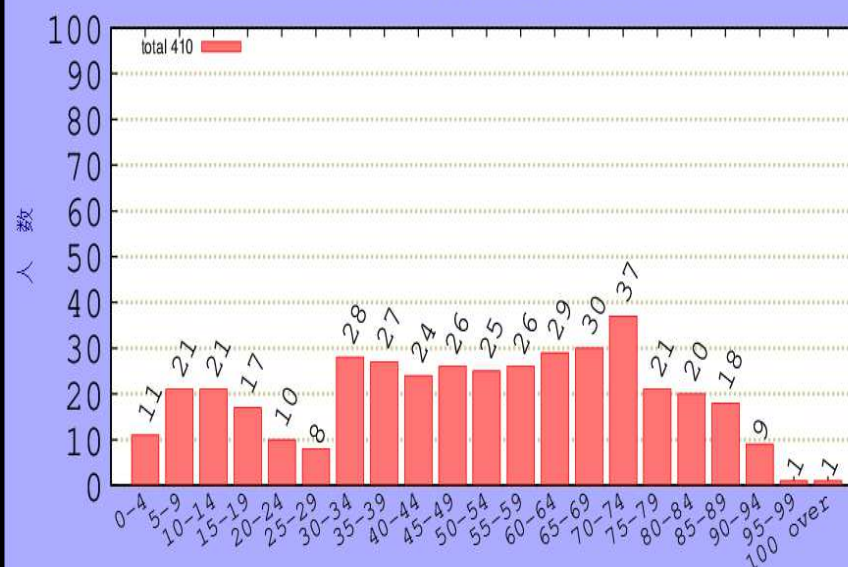
南砺市 西太美地区 2060年 (2010年を1とした変化率)



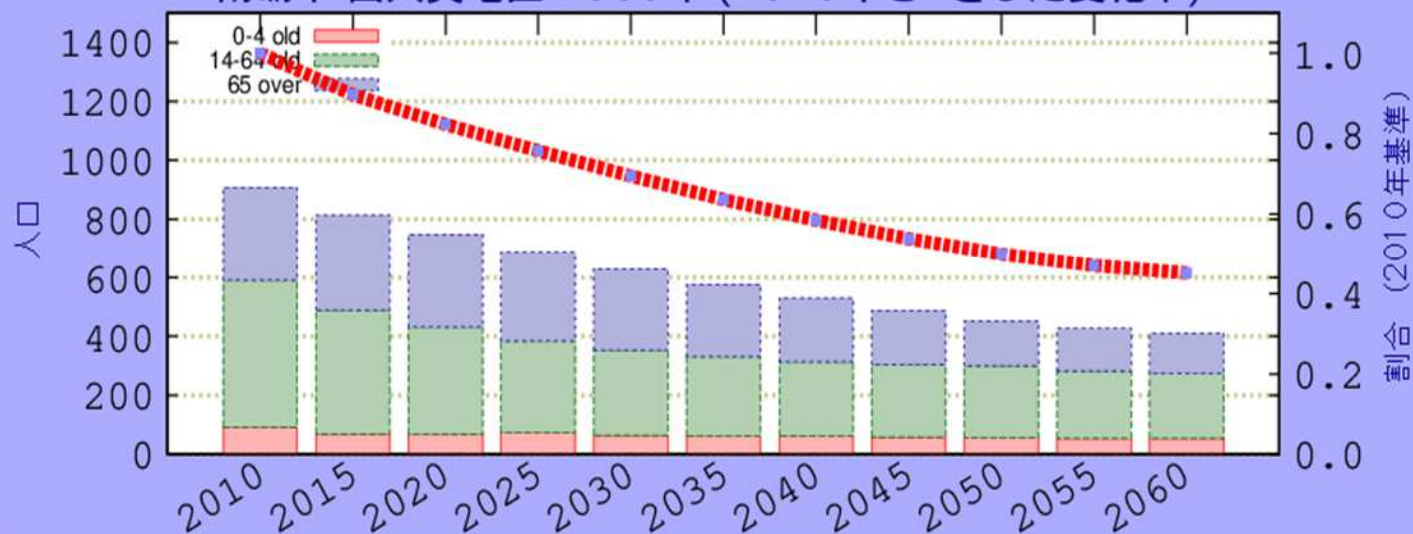
南砺市 西太美地区 国勢調査 2010年(実績)



南砺市 西太美地区 国勢調査 2060年(予測)



南砺市 西太美地区 2060年 (2010年を1とした変化率)



山ぶどうワインヒアリング

TUINS



年	出来事
きっかけ	ぶどうの木を持っていて、趣味でワインを作っていた。
平成5年	所有者が高齢で継続が難しいので有志を集めて本格的に始めた。
平成27年	山ぶどうを地域活性化に繋げるために本格的に栽培を開始した。
平成28年	専門の先生に教えてもらう
平成29年	豪雪で山ぶどうが全滅した
平成30年	山ぶどうワイン「アッタラモーニ」を販売した
令和2年	去年の4倍の1600本を出荷し、精力的に市場に売り込んでいる
令和4年	地元産100%のワインを目指している

無農薬トマト

TUINS



出来事

きっかけ	栗野秀さんは農業に関する知識を勉強して、趣味で自然栽培を作っていた
平成29年	耕作放棄地だった地面をお借りしてビニールハウスを建た
平成30年	トマトの作付けをはじめた
平成30年	無農薬トマト「栗土舎」を販売した
今後展望	リーフレット冊子やホームページの作成する
	無農薬栽培農家の紹介、販路の共有で販路の拡大する
	農産物配送の負担軽減や地域資源活用堆肥製造販売の取り込みなど



出来事

きっかけ	農薬を使うことに疑問を持って、15年程前に自宅用の無農薬米を作っていた				
定年後	更に面積を広げ無農薬の田んぼを始めようと決めていた				
10数年前	循環型里山を守るために耕作放棄田で、自然栽培による米づくりをはじめた				
平成27年	自然栽培米に取り組みはじめた				
平成27年12月	「奇跡のリンゴ」の木村秋則氏の指導による「のと里山農業塾」を受講した				
平成28年11月	修了された				



ワインバー廻りの提案

TUINS

ワインバー



カウンター材質: 木製



テーブルとスツール



壁: 模様の壁紙



床: pvc



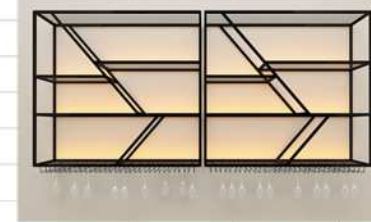
カウンター写真



スツール材質: 木製



高いスツール



背面の壁



床: pvc



背面の壁

インテリアイメージの提案

TUINS

和モダン・クラシック

クラシックスタイル

和洋のハイブリッドのような雰囲気でも、最も美しい和に寄りかかると優雅さがある。サインを少し加えながら、和風のイメージに近づくことができる。

洋書



ソファ・椅子



照明



イメージ写真



絨毯

洋書



イメージ写真



椅子



ハンギングランプ



テーブル



イメージ写真

和洋のハイブリッドのような雰囲気でも、最も美しい和に寄りかかると優雅さがある。サインを少し加えながら、和風のイメージに近づくことができる。

洋書



時計



照明



ベッド



壁紙



ベッド

洗面室・トイレ



リビング・ホール



イメージ写真



壁炉



照明



絨毯

洋書



イメージ写真



イメージ写真

長いダイニングテーブルセット



ベンチ



照明



照明



イメージ写真



ベッド



照明



ソファセット

和モダンスタイル

和風の雰囲気にも合うスタイルで、最も美しい和に寄りかかると優雅さがある。サインを少し加えながら、和風のイメージに近づくことができる。

和モダンスタイル

サインがあることで和の雰囲気を演出し、最も美しい和に寄りかかると優雅さがある。サインを少し加えながら、和風のイメージに近づくことができる。

TUINS



古民家にワインバー

市民グループ、12月開設

南砺市の市民グループ「Casa（カーサ）」が12月をめどに、同市才川七の古民家で、地元産の山ぶどうワインを味わえるワインバーを開設する。来年3月には宿泊設備も設け、過疎に悩む西太美地区の活性化拠点を目指す。富山国際大の川本聖一教授（環境デザイン）のゼミ生が、内装や照明のイメージを提案するなど準備作業に協力しており、5日は現地で検討会が開かれた。

南砺・西太美地区

ワインバーの運営を担う「Casa」つむぐプロジェクト



富山国際大生ら協力

「カト南砺」の堀室大代表理事によると、ワインバーとなる木造2階建ての古民家は築約150年。住民から建物を譲り受けて敷地を購入し、建物には「才川セブン」と名付けた。隣接地には、山ぶどうの栽培とワイン「ATTAR AMONNI（あつたらもん）」の醸造に取り組んでいる西太美地域協議会の倉庫がある。計画では古民家の1室を、このワインと郷土料理を味わえるバーに改装し、土間にはビザ窯も新設する。

5日の検討会では、堀室代表理事と川本教授、建設業者、家具業者を前に、川本ゼミの3、4年生6人が和モダンを基調としたバーのデザインや、おしゃれな雰囲気照明、トイレなどを若者の視点から提案し、実現可能な部分を探った。

郷土ワイン・料理提供

富山国際大生デザイン提案

学生の目線を取り入れ、中つづめるが狙い。住環境に山間地域に人が集まる拠点を、つくるのが狙い。住環境について学ぶ3、4年生が、堀室



らグループのメンバーと共に内装デザインを手掛ける。古民家は木造平屋建て約200平方メートル。10年以上空き家だったもので、堀室さんが持ち主から譲り受けたバーでは、福光地域で生産されたワインのほか、近くの休耕田で栽培した無農薬野菜をふんだんに使った砺波地方の郷土料理などを提供する。本年度内に宿泊スペースも併設する予定。この日の検討会では、学生6人が、照明や家具などのイメージを堀室さんと工事関係者に発表。土間にビザ窯を設置することやぼんぼり形の照明を使うことなどを決めた。4年の武部奈津世さん（22）は「古民家の落ち着いた雰囲気を残しながら西洋の華やかさも取り入れ、訪れた人に驚きを与えたい」と意欲を見せた。堀室さんは「福光地域の静かな環境の中で地元の食材を使った料理を味わってもらいたい、時間を忘れて楽しめるような店にしたい」と話した。

古民家の前で談笑するプロジェクトのメンバー

富山新聞

北日本新聞

福光活性へ古民家バー

ワインバー開設について意見を交わす関係者＝南砺市才川七

リノベーション工事

TUINS



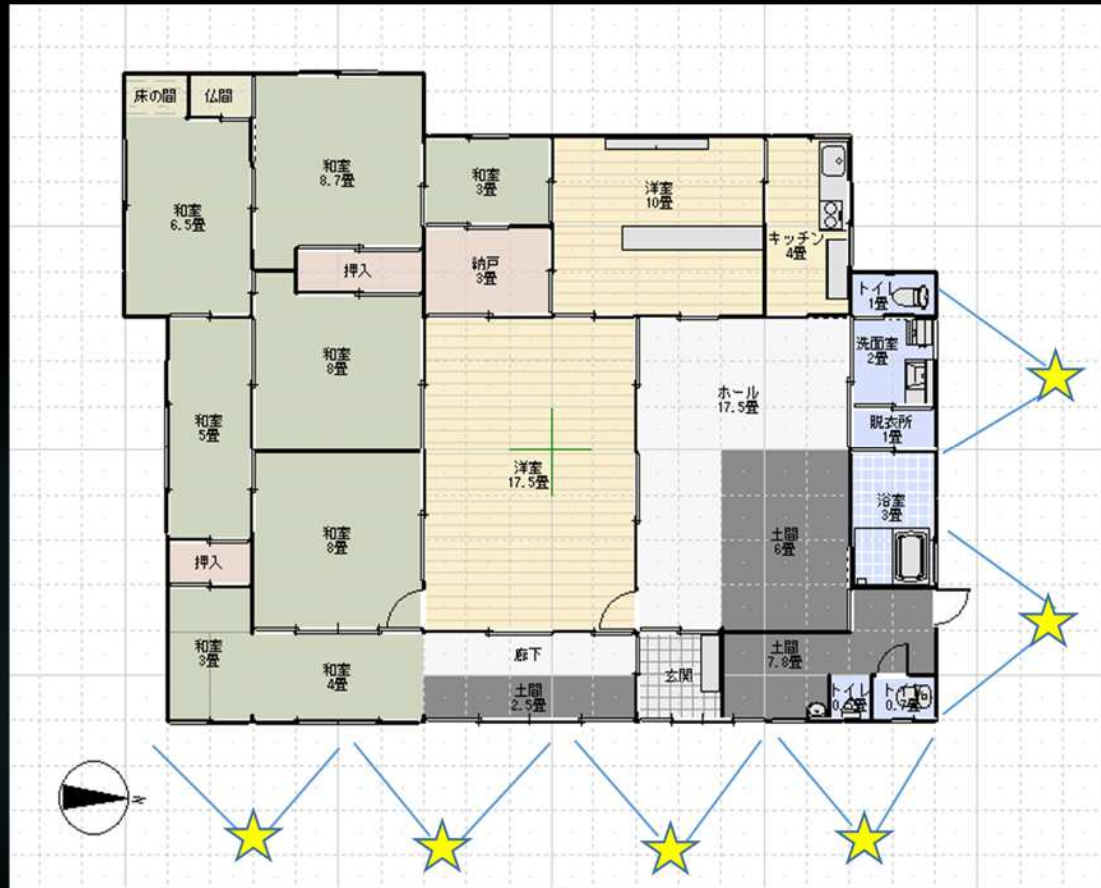
バーカウンターとワインラック

TUINS



外部照明計画

TUINS



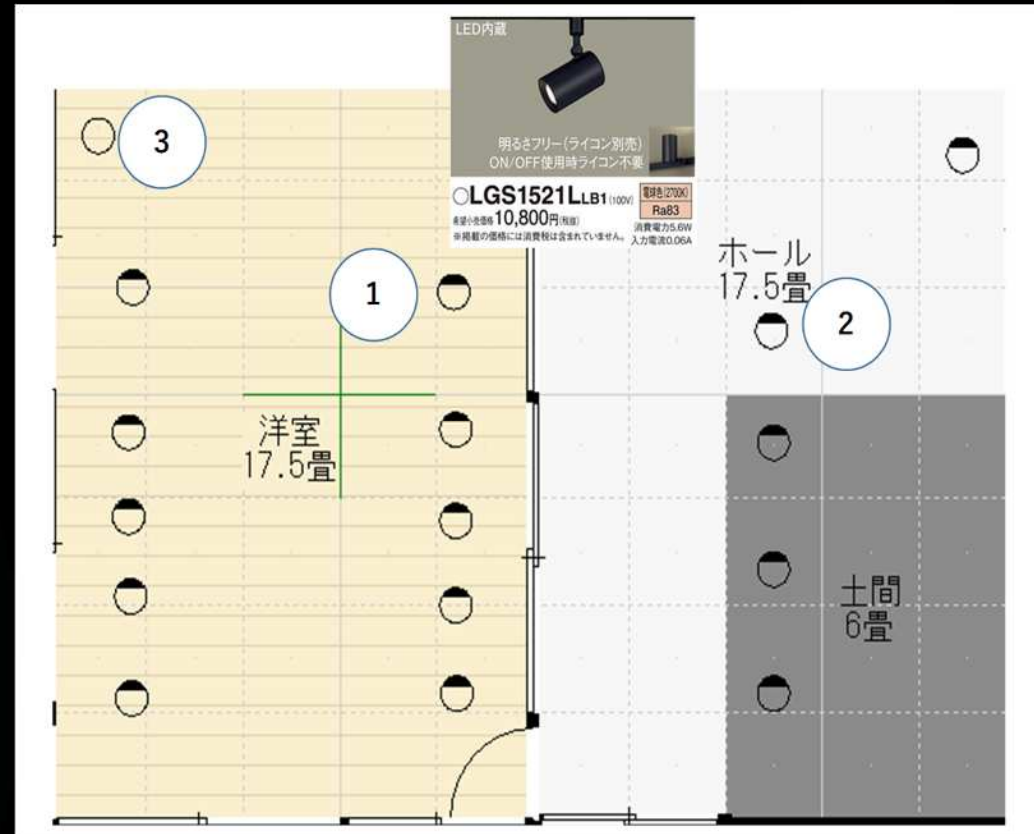
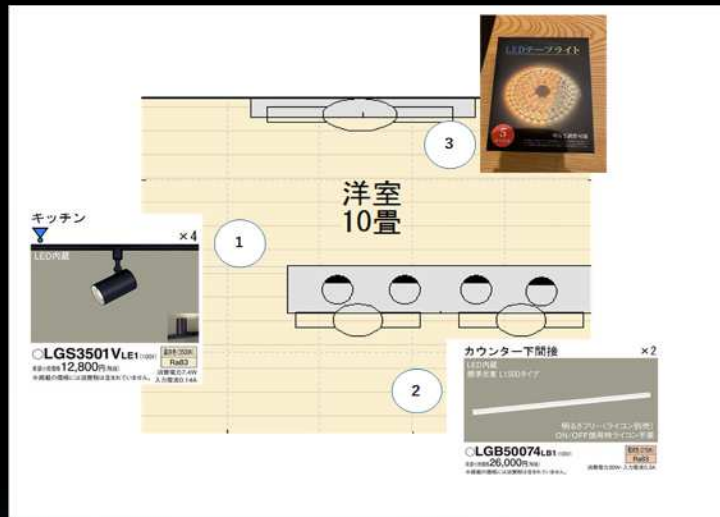
汚れを隠す照明計画

TUINS



照明計画

TUINS



ころがしをスタント照明に

TUINS



西太美 NISHIHUTOMI

西太美地区は福光地域の南側に医王山の山麓にある。10集落がいて、人口は255人。(令和2年)

歴史

- 784年・・・泰澄大師が真言密教を広めるために医王山48ヶ寺を開いた
- 1619年・・・この頃才川の7つの村が合併し才川七村となる
- 1870年・・・才川七村は太美郡16村の中に入る
- 1889年・・・西太美村が誕生する(小沢瀬見・才川七・土庄・柳原の一部・小二又・天池出・高広谷・糸谷新・音城寺)
- 1952年・・・町村合併により「福光町」が誕生
- 2004年・・・合併により高岡市となる

年間行事



サマーフェスティバル

1年を通して誰もが楽しめる行事を開催している。
みんなで助け合い支え合うといった小さなまちならではの温し物が多い。

西太美地区の行事などの詳細はこちらから(広報誌を閲覧することが)

西太美 No1

人口と移住

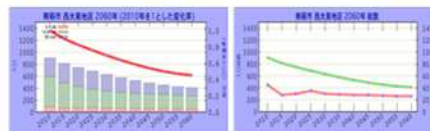


現状のまま進んだ場合



高岡市と比べて分かるように、この現状のままいくと2060年には高岡市で10分の3に、西太美地区は10分の1にまで人口減少する。とくに西太美地区はまうの存続が危ない状況である...

毎年2世帯の移住者がいる場合



5~10歳の子供1人を持つ3人家族が毎年2世帯移住してくることを想定すると、人口減少は止むのかもしれないが半分まで減少を加えることが出来る。また、右の小学3年人口のグラフから分かるように、2020年ころから小学3年人口の減少が収まり、安定する。

積極的に移住体験ツアーを行っています!!



移住体験ツアーでは、高岡市の商工材料や緑地利用など様々なことを体験できる。住民の方々とも触れ合えるので、移住後の生活を想像しやすい。実際にこのツアーに参加して、人々の温かさ、環境の良さに思われて移住を決めた声がたくさんあります!



移住体験ツアーに招待がある方はこちらから 高岡市の移住に招待がある方はこちらから



西太美 No2

人口と移住

西太美 No3

医王山、IOX-AROSA

医王山

いおうざん

名前の由来

泰澄が入山し、草堂が多いことから唐の官王山にちなんで官王山と名付けられた。元正天皇が大原にゆかり、泰澄がこの山の草堂を献上し供養されたことをきっかけに官王山は医王山と改名された。



主に採れる薬草 約200種ある

山中の地形が豊かで登山コースも多いため、いろんな山遊びが楽しめる。日本三百山、新・花の百名山に選定されている。

IOX-AROSA

イオックス・アローザ

医王山の山麓にあるスキー場。1年を通して様々なイベントを開催しているので、スキー以外にも春夏秋冬楽しめる。とくに9月~10月に開催されるキバナコスモス祭りでは、ゲレンデ一面に広がった美しいコスモスを堪能できる。



イオックス・ヴァルトでは、スイス風の可愛いコテージでBBQや宿泊ができる。大自然の中でゆっくりとした時間を楽しめる。



IOX-AROSAの詳細、情報(公式HP)はこちらから



① 地元ワイン「アッタラモンニ」

福光地方に伝わる懐かしい方言「あつたらもんに（もったいない）」を冠した、山ぶどう100%のプレミアムワイン「ATTARAMON- NI」。



きっかけ



平成5年



平成27年



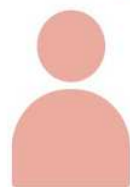
同地区の住民でつくる「山ぶどう研究会」は、地元で多く自生するヤマブドウを活性化の起爆剤にしようと、27年から山ぶどうを地域活性化に繋げるために本格的に栽培を開始した。



平成28年



"平成28年には、ブドウを専門に栽培している人に学習と検討を教してもらった。"



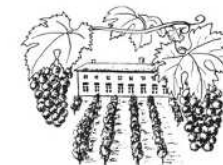
② 地元ワイン「アッタラモンニ」

福光地方に伝わる懐かしい方言「あつたらもんに（もったいない）」を冠した、山ぶどう100%のプレミアムワイン「ATTARAMON- NI」。

平成29年



平成29年の冬には、豪雪のために山ぶどうが全滅した。



平成30年



地域資源を生かすという思いを込め、南砺地方の方言で「もったない」などを意味する「アッタラモンニ」と名付けた。平成30年から、山ぶどうワイン「アッタラモンニ」を販売した。価格は3300円である。



ヤマブドウ商品

山ぶどうゼリー:品質水準は地元産で平均糖度18度以上で収穫を行っている。山ぶどうは紫紅色と酸味、ポリフェノール・食物繊維・等栄養素が多く含まれた果樹100%仕様の商品です。普通ぶどうに比べてミネラル成分3~8倍、成分価 値4~10倍の健康食品である。山ぶどう100%の原液を薄めて無味・無臭な植物性ゼリーの素で調整、山ぶどうの色素・風味・少し酸味を残して、滑らかに飲みやすいゼリーにしている。



山ぶどうジャム:品質水準は地元産で平均糖度18度以上で収穫を行っている。山ぶどうは紫紅色と酸味、ポリフェノール・食物繊維・等栄養素が多く含まれた果樹100%仕様の商品です。普通ぶどうに比べてミネラル成分3~8倍、成分価 値4~10倍の健康食品である。小さな山ぶどうの実の中より5~6粒の種をピンセットで一粒ずつ選り分けて、皮と肉だけを長時間かけて煮詰めて砂糖だけ加えて糖度 平均50度程になるようにして、煮詰めるだけで作った肉りの100%の山ぶどうジャムである。



無農薬トマト「栗土舎」

「栗土舎」は、南砺市福光地区の太美山にて、トマト栽培をしている。農薬、化学肥料、除草剤は一切使用せず、土・水・風を基とした周りの自然環境を大切にしている。

きっかけ
幼い頃から環境問題に興味・関心があり、大学4年「自然農法 わら一本の革命」という本に出会い、農業の道へ進む。一般的な方法で化学肥料を使い効率化を優先→環境に悪い。スペース地域資源を利用した有機農業持続可能な方法。大学卒業後は自山のほうで地域活性化の仕事をしていた。2年半ほど無農薬農家で修行したのちに3年前福光へ来た。

平成29年
耕作放棄地だった地面をお借りしてビニールハウスを建てた

平成30年
トマトの作付けをはじめた

平成30年
無農薬トマト「栗土舎」を販売した

・無農薬トマトと普通のトマトの違い
化学肥料を使っているものは中身はプロブヨ...無農薬だと、実がっまっていて、日持ちする、ミネラルが豊富！

・販売先
富山県内のお店(レストラン)へ卸したり
地元のスーパーや道の駅などでも販売

リーフレットやホームページの作成
無農薬栽培農家の紹介、販路の共有で販路の拡大する
農産物配送の負担軽減や地域資源活用堆肥製造販売の取り込みなど



無農薬米「なべちゃん農場」

「なべちゃん農場」は、コシヒカリの玄米を使って栽培している。田んぼは富山と石川の県境、南砺市小瀬見の里山にある。高台の澄んだ湧き水が入る環境は、無農薬・自然栽培で「環境に優しい安全なお米づくり」を心掛けるにはピッタリの場所である。

きっかけ
小瀬見の田んぼ 家から1~2km15年前に耕作放棄地が出て循環型農業へおじいちゃんの農地を自分でも作りたい...！5年前 能登里山農業塾(第3期)(奇跡の林檎を作った人)で無農薬農業について本格的に学ぶ

退職した後に、栽培面積の拡大を決め、そして無農薬技術を採用を開始した。

10数年前から南砺市に嫁が出発しはじめた。里山の循環型構造を守るために耕作田を放棄されます、自然栽培による米づくりをはじめた。

平成27年には、定年のきっかけに耕作放棄となった水田約1.3haで自然栽培米に取り組みはじめた。

平成27年12月から、「奇跡のリンゴ」の木村秋則氏の指導による「の」と里山農業塾を受講し、平成28年11月に修了された。

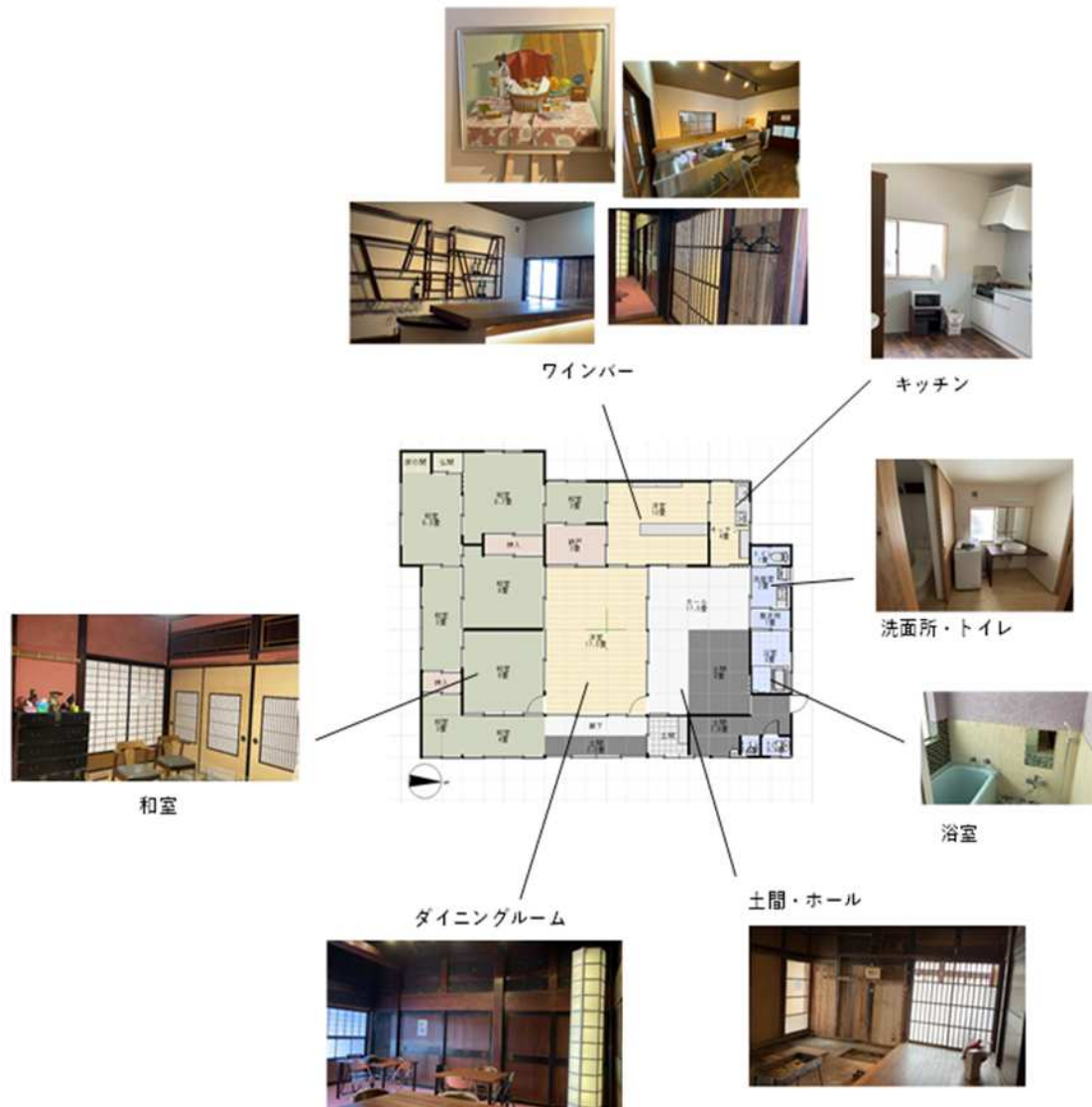
これからこの1人でやるのは田んぼが限界。野菜も作りたいけど人手不足。担い手、半農半Xを募集中！
人と自然に優しいお米の聖地を目指す！

・販売先
取引先がいっぱいで、ありがたいことに断るくらいだそう。主に自然食品の店、道の駅、ホテルに卸す。米粉としてや、蕎麦屋さんにも出す。
2年前から南砺市の全小中学校で自然栽培米給食、幼稚園ではおにぎりの日として、無農薬米が食べられている。
・作っている商品
白米、玄米(0.45、1kg、2kg、5kg)
やきいも(スーパーやイベントなどで販売)
玄米から作るポン菓子 売れている！



工事項目と金額

TUINS

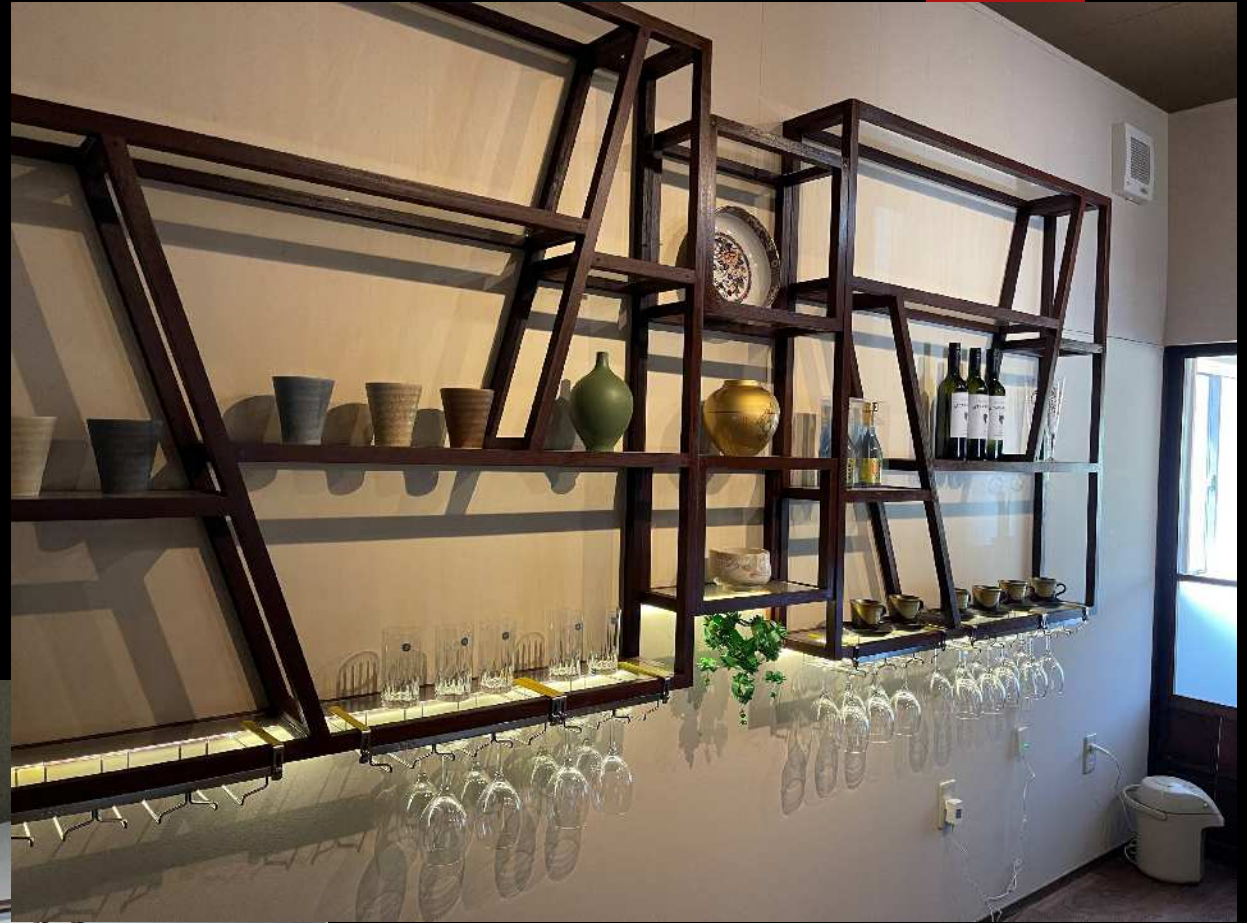


工事項目	費用
大工	1,710,000
内装	660,000
配管	660,000
電気	210,000
板金	210,000
厨房衛生	610,000
家具	450,000
エアコン	100,000
ワインセラー	80,000
看板	200,000
絵	100,000
照明	300,000
合計	5,290,000

才川7 竣工



才川 7 竣工



才川7 竣工

TUINS



営業日 カレンダー

2021 5 令和 3 年

日	月	火	水	木	金	土
						×
×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	13 ① かふえ	×	15 ② 茶 ④ テラス キッチン
×	×	×	×	20 ① かふえ	×	22 ② 茶
×	×	×	×	27 ① かふえ	×	29 ② 茶 ③ 福屋
×	×					

☆出店希望者を随時募集しています。お気軽にご相談ください。

④ テラスキッチン

11:00 ~ 15:00
麺を使った、身体にいい安心安全なお食事をご用意してお待ちしています
メニューはお問い合わせください
2日前までに要予約
直通 080-6358-0285

⑤ すっぽん料理

火・水・金・日
11:00 ~ 20:00 【一日一組】
すっぽんのフルコースをお楽しみいただけます。
一人前 8000 円
4名様より
4日前までに予約
直通 090-7745-3397

⑥ リョウツのバー

18:00 ~ 21:00
お酒と会話を楽しみませんか
少人数のご宴会もどうぞ！
Bar 1000 円から
宴会 一人 3000 円から
前日までに要予約
直通 080-1951-6081

こんにちは！

古民家 Wain Bar

オ川セブンです

オ川七の古民家で日替わりのお店がはじまります。

① セブン カフェ

10:00 ~ 15:00
おいしいコーヒーやお菓子で楽しい時間を過ごしませんか
予約不要

② たいちゃん喫茶

10:00 ~ 15:00
中国茶や薬草茶など健康にいいお茶でリフレッシュしませんか
お菓子つき 500 円から
予約不要

③ 福屋の蕎麦

11:00 ~ 14:00
心を込めて作った手打ち蕎麦です。売切れ御免のためご予約優先します
ざるそば 900 円
予約優先

お部屋をお貸しします

昼の部
10:00 ~ 16:00
夜の部
17:00 ~ 22:00
一組 2000 円
詳細はお問い合わせください 【完全予約制】



まとめ

- コロナ禍の状況下、経営は大変厳しい状況で成り立っていない。工夫して少しでも売り上げを伸ばす努力をしている。
- この状況が続けば、ゲストハウスの運営は難しく、方向転換が望まれる。→ 地域で活用される特色あるレストラン、シェアハウスなどが想定できる。
- 3名の学生はこのプロジェクトを卒業研究とした。地域の歴史、人口動態、空家の状況の調査、地域で活動する人々の活動の調査を行った。→ これらをパネル展示として、「才川7」に展示したが、地域の状況を来訪者に理解してもらうのに大変有効であった。これは我々のノウハウとなっている。
- 地域の人々と大学生が協働して進めていくプロジェクトは、空家問題を解決する一つのプロトタイプ。
- 今後の課題：学生が授業主体的な動きをしていく必要性があり、運用も学生が関与していきたい。SNSを活用した有効な広報活動など、ゲストハウスの需要回復が見通せない状況下、コロナ後の状況に対応した進め方が必要。
- 呉西圏域の南砺市以外の地域においても、今までのノウハウを生かして地域活性化を目的に、活動しているグループと連携し、他の地域でも水平展開したい。